

日時	発表者	連絡先	発表・配布先
令和6年1月9日(火)	(公財)ひょうご産業活性化センター 経営推進部長 足立 宰 (成長期待企業発掘・育成担当課長 林 謙太郎)	078-977-9118	

「成長期待企業」(2023年度第3四半期選定)の情報提供について

(公財)ひょうご産業活性化センターでは、県内の中小企業支援機関等で構成する「中小企業支援ネットワークひょうご」事業の一環として、成長が見込める元気な企業を「成長期待企業」として発掘・選定し、企業の成長に向けた各種支援を実施しています。

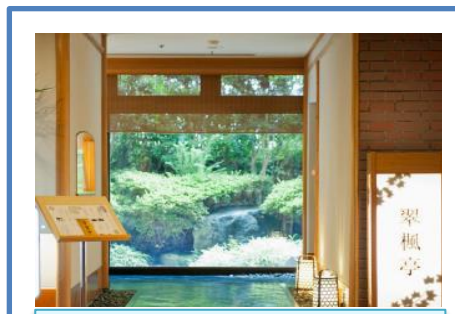
この度、新たに下記の6社(累計597社)を選定しましたので、その企業の概要をお知らせします。

1 (株)二鶴(飲食店、ギャラリー、ライブハウスの経営等)

街を楽しく、場を楽しく、時を楽しく、人を楽しくする企業!

(1) 沿革等

・同社は、1950年(昭和25年)に設立。2004年(平成16年)に神戸三宮でライブハウス「VARIT.」を開業。2007年(平成19年)に有馬温泉のメープル有馬内にお食事処 翠楓亭やバーラウンジ等を開業。2019年(令和元年)に神戸元町でスパイスカレーと手作りスイーツの店「SCOOP」を開業した。



有馬温泉 メープル有馬内のお食事処 翠楓亭

(2) 同社の特徴

・同社は、神戸を中心にカフェ、レストラン、ライブハウスの運営を行っている企業である。外食事業においては、新規出店のみならず、OEM方式での商品開発を強化し、実店舗のブランディングとのシナジー効果による拡販を図っている。ライブハウスは、神戸三宮でも特に人通りの多い場所にあつて、2階建て構造という全国でも珍しい形状で、オリジナリティ溢れるイベント開催が可能な施設である。



全国でも珍しい2階建て構造のライブハウス「VARIT.」

(3) 今後の展開

・神戸市の景観計画や六甲山活性化施策(六甲ミーツ・アート)に合わせ、北野町にアートギャラリー等の施設を集積する「KITANO THE MAGNET」を計画。エリア全体の一体感を醸成し、持続性のある、楽しくて賑わいのある街づくりの実現を目指す。神戸市が推進するアート関連の施策とも協業し、アートをより身近なものにして、地域創生に貢献することを目指している。



北野町にアートギャラリー等の施設を集積する計画

【(株)二鶴 概要】

代表者: 颯川 欽和

資本金: 1,000万円

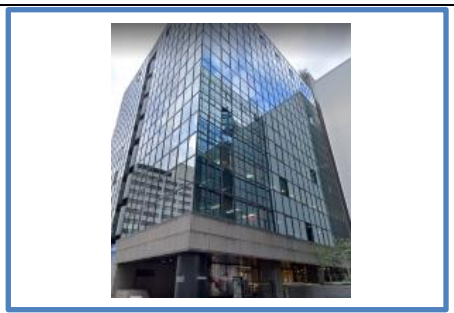
従業員数: 30名

所在地: 神戸市中央区海岸通6番地 建隆ビル

設立: 1950年(昭和25年)4月

電話番号: 078-335-0310

ホームページ: <https://www.2kaku.com>



地域の未来を牽引する「チャレンジを止めない」企業!

(1) 沿革等

・同社は、1984年(昭和59年)に澤田脩一氏により創業。1988年(昭和63年)にサワダ精密株式会社として法人設立。1995年(平成7年)に現在地(姫路市広畑区)に本社工場を新設。2004年(平成16年)には大阪中小企業投資育成(株)より資本参加を受け、資本金4,250万円に増資した。2013年(平成25年)に澤田洋明氏が代表取締役役に就任。2018年(平成30年)にベトナム・ハナム省にSawada Precision Vietnam Japan Co., Ltd. を設立し、現在に至る。



(2) 同社の特徴

- ・同社は、自動車電装品製造装置部品や発電プラント用ガスタービン部品を国内有数の大手企業に長年安定供給しており、豊富な加工実績と優れた加工技術を有する。60台を超える多種多様な工作機械を揃え、表面処理以外の工程をすべて内製化し、短納期かつ低コストでの一貫生産体制を強みとしている。生産性についても10年近くの試行錯誤の結果、単月で24時間を分母として88%の稼働率を達成、多品種少量生産における圧倒的な競争優位性を誇る。
- ・同社は、「ものづくりは人づくり」、「社員ひとりひとりがサワダ1番の強み」と謳うなど「人」を大事にする企業である。人財育成委員会では凡事徹底活動や社員間のMVP投票などを推進。工場のイメージを一新する「Show Room工場」にもチャレンジしている。



(3) 今後の展開

- ・同社は、金属加工技術が応用可能な半導体製造装置の部品供給という新分野に挑戦している。蓄積された金属加工技術に加え、開発者2名の名前を冠した同社独自の生産システム「ヨネスカシステム」やロボット、AIソフト「RPA」を駆使し、大手半導体製造装置メーカーとの取引を拡大しつつある。



【サワダ精密(株) 概要】

代表者：澤田 洋明
資本金：4,250万円
従業員数：87名
所在地：姫路市広畑区吾妻町1丁目39番地
設立：1988年(昭和63年)11月
電話番号：079-239-2225
ホームページ： <http://www.swdpre.co.jp>



香住ガニ、その他水産物販売のエキスパート企業！

(1) 沿革等

・同社は、1957年（昭和32年）に上近商店（個人事業）として、上垣近蔵氏が創業。1962年（昭和37年）に有限会社上垣商店として法人成り。1976年（昭和51年）に株式会社化し、社名を株式会社丸近に変更。1977年（昭和52年）に城崎温泉内に蟹専門店の飲食店（華和み）を開店。2005年（平成17年）に上垣重幸氏が代表取締役に就任、資本金を400万円へ増資した。2018年（平成30年）に直営飲食店「華和み城崎店」を、2021年（令和3年）に「華和み香住本店」を出店。2023年（令和5年）に豊岡の「足軽旅館」をM&Aにて取得し、現在に至る。



浜茹で 香住ガニ

(2) 同社の特徴

・同社は、これまで培ってきた水産物の圧倒的「目利き力」による素材の見極めと美味しさを最大限に引き出す「加工技術」により安定した品質（ボイル、剥き身）を誇る。出荷前の品質管理も徹底（身入り、におい等）し、クレーム発生件数はほぼ0件である。品質の良さから町のふるさと納税返礼品に選定され、売上を拡大している。また、形状等の規格外品のため市場には出荷できないが、品質的に問題ない品を、旅館と飲食店で使用し、コストや食品廃棄ロスの低減を行っている。



かに料理店 華和み

(3) 今後の展開

・M&Aで取得した城崎温泉の山荘「足軽旅館」を蟹専門店直営の「蟹料理旅館」としてリニューアルし、ネット広告等の活用により自社のHPへ見込み客を誘導する。宿泊・加工・飲食間での相互広告効果により自社のWeb販売の更なる拡大とインバウンド需要の取り込みやBtoC市場の開拓を図ろうとしている。



城崎温泉の山荘
「足軽旅館」

【(株)丸近 概要】

代表者：上垣 重幸
資本金：5,400万円
従業員数：34名
所在地：美方郡香美町香住区香住3
設立：1962年（昭和37年）9月
電話番号：0796-36-1338
ホームページ：<https://kani-mrck.jp/>



4 (株)淡路島観光ホテル (旅館)

日本一のフィッシングホテル！

(1) 沿革等

・同社は、1962年（昭和37年）に淡路島初の鉄筋コンクリート造り5階建てのホテルとして創業。1966年（昭和41年）に南館6階建を増築オープン。1970年（昭和45年）に本館北側に8階建の新本館を増築オープン。1972年（昭和47年）に現上皇ご夫妻にご宿泊賜る。2021年（令和3年）に現代表が代表取締役に就任し、現在に至る。

(2) 同社の特徴

- ・同社は、「日本一のフィッシングホテル」をキャッチフレーズに、「釣り体験」に特化した経営を行っている。同社敷地内の「プライベート釣り場」は24時間利用可能な島内で唯一無二の釣り場である。釣り場には専属のスタッフが常駐し（8～19時）、無料のレンタル竿、仕掛けとエサの無料サービス、子供用ライフジャケットの貸出しを行い、宿泊客を全面サポートする。島内でこのようなサービスを行うホテル・旅館は他に存在しない。
- ・同社では、到着から出発まで、いつも宿泊客のそばに旅館スタッフが控えて、「お客様の未来に何が残せるか〜人生を変える19時間に〜」をミッションに掲げている。また、「地産地消・食材淡路島産率100%」という目標を掲げ、料理長自らが毎日、淡路島で育った食材の仕入れに出向き、地域のサステナブルな繁栄に貢献している。

(3) 今後の展開

- ・同社は、メインターゲットをファミリーから子供（小学生まで）に絞る。「釣り」以外の子供向けのコンテンツを充実させ、毎年バージョンアップする計画である。旅館に泊まることで得られる新しい体験価値を提供し、「お子様との最高の思い出作り」を行うことで、日本一のフィッシングホテルとともに、お子様指名率もNo. 1を目指している。



当館敷地内のプライベート釣り場に5つのエリアを設ける



シーサイドバー「湾処」



プライベート釣り場 ①のファミリーエリアの様子



釣った魚を料理長が調理
持ち帰り用の下処理も可能

【(株)淡路島観光ホテル 概要】

代表者：上村 早苗
資本金：8,000万円
従業員数：112名
所在地：洲本市小路谷1053番地17
設立：1962年（昭和37年）4月
電話番号：0799-26-0114
ホームページ：<https://www.awakan.com/>



オーガニック食品のパイオニア企業！

(1) 沿革等

・同社は、1958年(昭和33年)に山本俊文氏(現社長の父)が尼崎市潮江東大寺にて創業、ごま、青のり、唐辛子などの製造販売を始める。1970年(昭和45年)に資本金100万円で有限会社山本貢資商店を設立。1995年(平成7年)に資本金を1000万円に増資し、株式会社山本貢資商店に商号変更した。2004年(平成16年)に西宮市山口町阪神流通センターに本社を移転。2006年(平成18年)に有機JAS認定を取得。2009年(平成21年)に資本金を1500万円に増資し、現在に至る。

(2) 同社の特徴

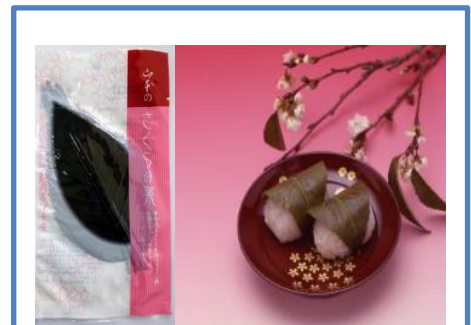
・同社は、昭和33年の創業以来、丹波黒豆きな粉や国産有機きな粉、すりごまをスタンプミル(もちつき)方式により生産している。通常のスリごまはサラサラしているが、独自製法による同社の「すりごま」はしっとりした独特の風合いがあり、模倣が困難でコスト競争力を持つ。その他にも伊豆下田産食用さくら葉を使用して、塩漬けされたものから水抜き、真空パック、ボイル殺菌を行うなど、手の込んだ工程を経て作られる和菓子材料の「桜の葉」など、数々の商品をフラッグシップ商品として世に出している。販売先に高付加価値商品売りをする有名スーパーを多数抱えており、高単価で売れるビジネスモデルを構築している。

(3) 今後の展開

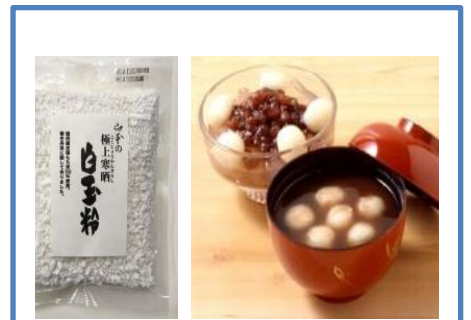
・同社は、国産有機栽培(オーガニック)食品を全国に先駆けて開発、販売している。今後は、国産有機栽培のパイオニアとして、独自技術を活かした美味しく安心安全な食品の長期安定的な供給に努め、さらなる事業の拡大を目指していく。



有機栽培で育てられたごまを丁寧に仕上げた風味豊かなしっとり風味のスリごま



伊豆下田産食用さくら葉を塩漬けして殺菌、真空パックした和菓子材料「桜の葉」



「山本の極上寒晒白玉粉」を使った白玉ぜんざい

【(株)山本貢資商店 概要】

代表者：山本 浩史
 資本金：1,500万円
 従業員数：46名
 所在地：西宮市山口町阪神流通センター1丁目107-1
 設立：1970年(昭和45年)5月
 電話番号：078-907-1820
 ホームページ：http://www.yamamotokoujishouten.co.jp/



システムエンジニア(SE)の質(Q)の向上を追求し続けるシーク (SEQ) !

(1) 沿革等

- ・同社は、2006年(平成18年)に中西政彦氏が資本金300万円で設立。2021年(令和3年)に北村陽一氏が社長に就任し、現在に至る。

(2) 同社の特徴

- ・同社は、ソフトウェアの受託開発に特化した企業である。きめ細かな対応で、大手が手掛けないニッチな技術領域での案件を中心に受託し、多種多様なシステムの開発実績を誇る。特に交通系、水管理、品質管理等に関する制御系のシステム開発を得意としている。国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)など専門機関への研究支援では、高度な技術を要する研究内容に対し受託開発及びSE派遣で対応している。コロナ禍の影響もなく、毎年2~3名の採用を行っており、社員の平均年齢は35.2歳と若く、活力あふれる企業である。

(3) 今後の展開

- ・同社は、10年後に社員50名を目指す。そのため、研修や教育制度を整え、キャリアパスを示して人材育成を行う。2022年度にはソフトウェア開発者への資格取得支援制度を導入。また、オフィスの環境改善として、「全社員モニター2台」「空気清浄機設置」「オフィスBGM導入」「全社員テレワーク対応」など、社員の要望を定期的に面談でヒヤリングし、働きやすく効率的に仕事ができる環境構築に努めている。「歌って踊れるSE」を目指して、人材育成に取り組み、社員の人間力を高めることで、会社も共に成長している。



車両検査に関わるシステムなど鉄道やバスに関する幅広いシステムを開発



火力発電所の操作室で使われているシステムの訓練用シミュレーター画面を製作



河川の排水機場・樋門を監視したり制御するためのシステムを開発

【(株)シーク 概要】

代表者：北村 陽一
資本金：300万円
従業員数：35名
所在地：神戸市中央区多聞通4丁目4-13 歩11番館6F
設立：2006年(平成18年)5月
電話番号：078-371-8856
ホームページ： <https://www.se-q.co.jp/>



〔参考〕 成長期待企業について

1 概要

経営革新や新たな技術・製品・サービスの開発などに取り組んでいる県内の中小企業を応援するため、(公財)ひょうご産業活性化センターを中核機関として中小企業支援機関をネットワーク化した「中小企業支援ネットひょうご」を構築しています。

このネットワークを活用し各種の支援を実施することにより、売上・利益・雇用の面での成長が期待できる企業を「成長期待企業」として選定し、集中的に支援を実施する(原則2年間)制度を設けています。

平成15年以降、600社弱の中小企業を選定しています。

2 選定基準

以下の選定基準(選定基準より一部抜粋)をもとに委員会にて企業を選定します。

- ① 成長が期待される元気な中小企業である。
- ② 「中小企業支援ネットひょうご」の構成機関による支援策が有効に活用される業種・業態の企業である。
- ③ 県内に主たる事業所を有する企業である。
- ④ 経営方針(経営理念、具体的目標、ビジョン)がある。
- ⑤ 経営革新・第二創業や新たな技術、製品、サービス等の開発の要素がある。
- ⑥ 支援策の活用により今後3年間において、売上、利益、雇用のいずれかで成長が見込める企業である。

3 選定企業への支援

「成長期待企業」として選定された企業は、次の支援メニューを活用できます。

- ① 「コンサルティング支援」(原則2年間)
当センターの総括コーディネーター・マネージャーによる指導・助言
- ② 「専門家派遣事業による支援」(原則2年間)
ひょうご産業活性化センターの専門家派遣事業に係る費用負担の軽減
- ③ 「情報提供支援」
異業種間での経営者同士の情報交換機会の提供(ひょうご成長期待企業定例会を奇数月開催)
- ④ 「企業PR支援」
「中小企業支援ネットひょうご」のホームページに選定企業として掲載